

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

パーパス

子どもから高齢者まで全世代が繋がり、お互いを支え合う地域づくりに貢献する

後発品調剤率
80%

② 中長期の経営戦略

1. 地域包括ケアシステムの推進

医薬、子育て支援、介護事業の連携により、官民協働モデル・団地再生モデル・在宅ホスピス対応など複合的なサービスを一体提供

3. 子育て支援事業の拡大

待機児童率が高い東京圏の駅前立地を条件に認可保育園を計画的に開園。公立保育園民間委託や学童保育も展開

2. 医薬事業の強化

処方箋枚数、処方単価、後発品調剤率、かかりつけ薬剤師指導料、在宅処方件数をKPIとして設定

4. 介護事業の成長

サービス付き高齢者向け住宅（ミアヘルサオアシス）をドミナント方式で展開。入居率向上と平均要介護度、デイサービス利用者数がKPI

③ 対処すべき課題

① 調剤・介護報酬削減対策

- ・国の財政逼迫による報酬引き下げに対応し、各加算項目の早期取得を志向
- ・医薬・子育て支援・介護事業のワンストップ提供で売上向上
- ・成長コンセプト明確化による新サービス開発と収益性向上

② 待機児童減少への対応

- ・少子化に伴う全国的な入園希望者減少に対応
- ・こども家庭庁創設による多様な保育ニーズへの対応
- ・保護者に選ばれる保育園づくりへの注力

③ 有資格者確保と人材育成

- ・薬剤師、介護福祉士、保育士の確保が必須
- ・地方採用強化と資格別の就業体系・人事給与制度構築
- ・多様な管理者育成と働き方改革の推進

面接で使えるポイント

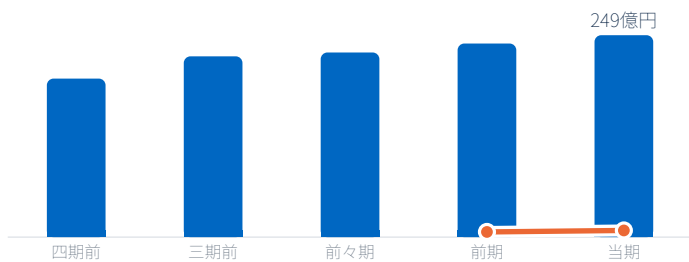
- ・2025年75歳以上が全人口の約18%、2040年65歳以上が約35%となる少子高齢化社会で...
- ・ミアヘルサオアシス和光の官民協働モデル、ひばりが丘の団地再生モデル...
- ・待機児童が発生する東京圏での駅前認可保育園計画開園、公立保育園民間委託事業受託、学童保育展開によるワンストップ子育て支援

ミアヘルサホールディングス株式会社

小売業 | スタンダード（内国株式） | 決算期 3月31日 | ...

証券コード 7129

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
249億円

営業利益率
3.3%

財務健康度
24点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 41.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
-（未開示）

平均年齢
-（未開示）

平均勤続
-（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ミアヘルサHD（7129）、増収増益で着地、営業利益は前年比

ミアヘルサホールディングス株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

